国内未利用資源を農業に活かす

令和８年度 国内資源循環推進事業 研修会

令和８年11月22日(日)13:30～16:35
受付開始 13:00

研修会について

農業集落排水汚泥をはじめとする国内未利用資源について、肥料としての特徴や安全性、利用状況を学び、農業者の視点から地域資源の活用可能性を考える研修会です。講演と意見交換を通じて、価格、肥効、安全性、供給・散布体制など、実際の利用に必要な条件を参加者の皆さまとともに考えます。
久松達央さんに直接質問し、農業の現場について語り合える貴重な機会です。講演を聞くだけでは得られないヒントや気づきを、ぜひ会場でお持ち帰りください。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時	令和８年11月22日（日）13:30～16:35（受付 13:00～）
会場	三重県総合文化センター　セミナー室Ｃ（男女共同参画棟） 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
開催方法	会場・Web 併用
対象	農業者・農業法人、農業関係職員、農業・下水道担当者、JA 関係者など

プログラム

時間	内容	担当
13:30～13:40	開会あいさつ・講師紹介	三重県
13:40～14:10	**第１部　情報提供** 農業集落排水汚泥を含む国内未利用資源の農業利用状況	野村 奏史 氏 株式会社建設技術研究所
14:10～15:20	**第２部　講演** 農業者から見た地域資源の活用	久松 達央 氏 株式会社久松農園
15:20～15:30	休憩	—
15:30～16:30	**第３部　質疑・意見交換** 国内未利用資源を農業で活用するには	進行：野村 奏史 氏 久松 達央 氏・参加者
16:30～16:35	閉会	—

参加申込・お問い合わせ

参加申込は、三重県農林水産部農山漁村づくり課を窓口として受け付けます。
申込方法：専用フォームまたは二次元コードからお申し込みください。
【https://logoform.jp/form/8vMX/1851758】
Web 参加をお申し込みいただいた方には、参加方法等について、別途ご案内いたします。
申込期限：令和8年11月19日(木)12時
会場案内：三重県総合文化センター　セミナー室Ｃ(男女共同参画棟)
施設案内：https://www.center-mie.or.jp/rental/institution/detail/shisetsu16.html

【専用フォーム】

「地域資源って、本当に農業で使える？」

農業の“きれいごと”を越えて、現場から一緒に考えます。

講師紹介

久松 達央 氏

株式会社久松農園 代表

(株)久松農園代表。1970 年茨城県生まれ。慶応義塾大学卒業後，帝人(株)を経て，1998 年に茨城県土浦市で脱サラ就農。年間 70 種類以上の野菜を有機栽培し，個人消費者や飲食店に直接販売する DtoC 型農業を行う。補助金や組織に頼らず、地域資源を活用した自立・自走の「小さくて強い農業」を標榜する。
著書に『おいしい日本の野菜が消える日　二極化する農業の未来』『農家はもっと減っていい』『小さくて強い農業をつくる』







こんな疑問を持つ方へ

● 未利用資源の肥料は、作物や土にどう効くの？
● 安全性や品質を、農業者はどう見極めればいい？
● 価格、供給、散布の条件が整えば、現場で使える？
● 地域農業を維持・発展させるために、何が求められているのか？

聞くだけで終わらない。久松さんに直接聞いて、語り合える研修会です。

地域資源の農業利用を、農業者の目線でどう捉えるか。期待できること、気になること、導入の壁まで、久松さんと参加者が一緒に掘り下げます。正解が一つではないテーマだからこそ、現場の経験に根ざした率直な話から、次の一歩につながるヒントを持ち帰ってください。

「自分の地域ならどうする？」を考えたい方、ぜひご参加ください。